

# げいび清流米ご活用の皆様へ

2月中旬、一関市では日陰に少量の雪が残っていますが、例年のような厳しい寒さは感じません。今年は雪の日が少なく、東北の冬らしさはありませんでした。2/8に気象庁から発表された1ヵ月予報によると、2/10～3/9、全国の気温は例年よりも高くなるそうです。

氷柱の太さでその年の米の作柄を占う「たろし滝占い(測定会)」、今年は計測不能、作柄予想は「不作」です。氷柱の長さは、例年約13mに対して今年は6m程でした。

たろし滝測定保存会の会長は「たぶん水不足、その影響による不作だと思いますけど、天候に恵まれた豊作を期待しています」とコメントしてくださいました。水不足の兆しがあるのは不安ですが、「不作」の予想結果にめげず、今年も米作りを頑張ります！

水不足といえば、思い出すのは去年起きた新潟のダムの渇水です。7～8月の猛暑時に新潟県の農業用水ダム3箇所の貯水率が0%になり、深刻な水不足がおきたのです。当時、インタビューに対して魚沼市の農家さんが「約1ヵ月、まとまった雨がふらなかったため、田が干上がって稲が枯れた」と答えていた映像が衝撃的でした。この猛暑による影響で、新潟のうるち米の一等米比率は15.7%まで落ち、(前年同時期は約74%)、稲作農家は大きな被害を被りました。

等級下落は米の販売価格低下につながるため、農家にとっては一大事です。例えば、全農岩手では等級が1級下がる毎に1袋(30kg)あたりの買取価格が500円もさがります。耕作面積が大きな農家ほどそのダメージが大きくなります。(参考: 岩手県の玄米収量は水田1反(約10a)あたり平均551kg(約18袋)です。)

毎年同じ作物を育てても、天気や降水量などは毎年違いますし、温暖化による自然環境の変化も著しいです。栽培時期をずらす、暑さに強い品種に変えるなど、農家も柔軟な対応を求められています。

**3月の発送日は15日です。**  
**(毎月第三金曜日)**



## エゴマ油ミニ完成!

エゴマ油「想」のミニボトルタイプ(65g)が新登場!

価格は年間定期購入者様は100円引きで

- ・焙煎タイプ 1,200円 → **1,100円(税込)**
- ・生搾りタイプ 1,300円 → **1,200円(税込)**

です。体を想う油、エゴマ油「想」を是非お試しください^^ (記: 佐藤翔)



▲ 暖冬で氷柱が育たず「計測不能」となったたろし滝測定会=11日、花巻市石鳥谷町大瀬川  
© 岩手日報WebNews



↑ 干上がった田

## 直売所

旬の逸品でご好評頂きました品々です。ご希望の場合はご用命下さい。

**えごま油(焙煎) 2,300円/140g (税込)**

**えごま油(生) 2,600円/140g (税込)**

**ご注文方法:** 郵便振替用紙通信欄に数量、お届け日を明記の上ご注文下さい。下記フリーダイヤル、FAX、Eメールでもお受け致します。 ※お米と一緒にのお届けにしますと片隅に入れられる分は送料が掛かりませんのでご利用下さい。

## お問い合わせ先

〒029-0301 手県一関市東山町田河津字田の萱 58

フリーダイヤル 0120-81-4153

FAX 0191-47-2769

Eメール okome@81-4153.com

生産者ホームページ <http://81-4153.com>

合同会社 田舎モノ 代表社員 佐藤 想 司

※日中は農作業のため留守電が対応します。ご用件をお話頂き、不明な場合はこちらよりご連絡いたします。